



森の楽校だより

VOL. 9

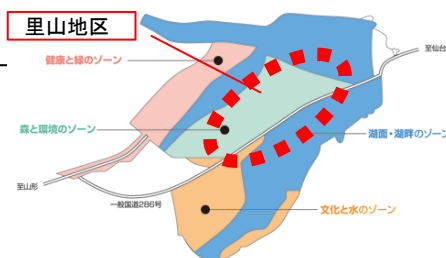


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

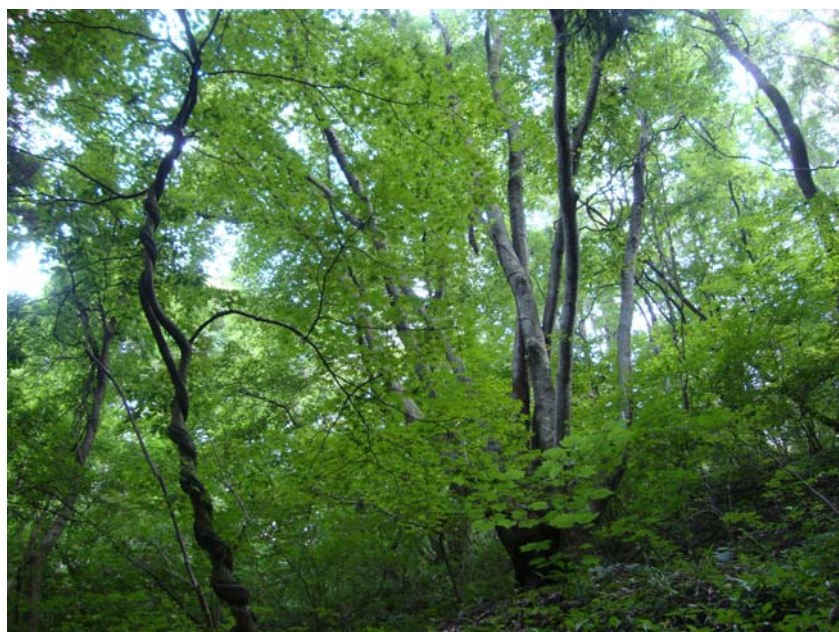
平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にビューポイントや園路づくり、施設づくりなど活動の場を広げていきます。



8月4日（土）晴れ 水場階段づくり、作業台づくり

いよいよ夏本番、うだるような暑さの中での活動となりました。

いよいよ夏本番です。ツリーハウスの活動場所まで移動するだけで、汗がにじむ暑さとなり、まずは一息ついて、作業分担の確認をし、活動開始です。



今日のお昼ごはん

屋外活動で楽しみの1つはお昼ご飯です。今回は、共生園で採れた野菜をふんだんに入れたハヤシライス、キュウリの浅漬と差し入れのイカすし（青森下北半島の郷土料理でイカに漬物を詰めたもの）。昼食は、日差しを避けて思い思いの場所で取りました。



作業台づくり

前回作り始めた小屋に作業台を置くことにしました。掘り込んだ地面を転圧し、土台を水平に据えた上に作業台を作っていきます。



水場の階段づくり



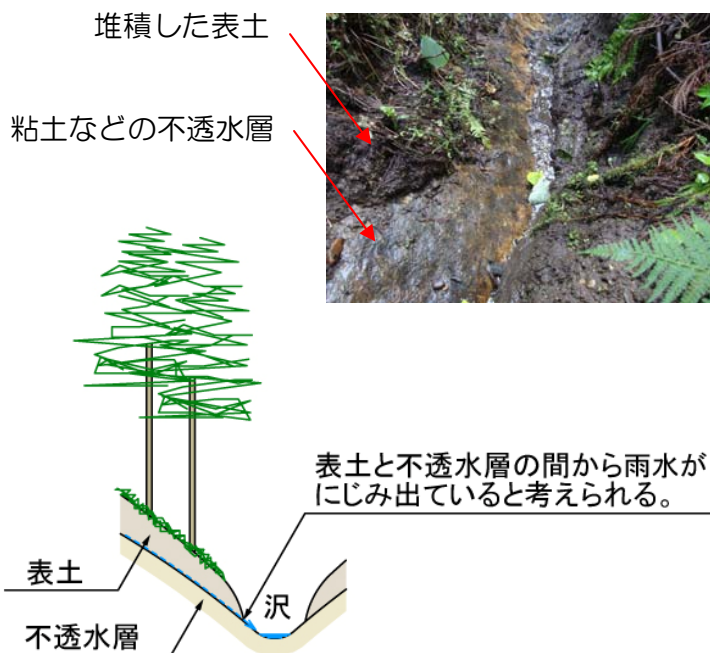
水場へ下りていく急斜面に階段を作っています。打ち込んだ杭で蹴上となる丸太を押え、段を作っていきます。斜面での作業はかなりの重労働です。

地下水について

地下水とは、広義では、地表面より下にある水の総称です。

狭義では、地下水面より深い場所で帯水層と呼ばれる地層に水が満たされ、飽和状態にあるものを「地下水」、地下水面より浅い場所で、土壤間に水が満たされず、不飽和状態である場合はその水を「土壌水」と呼ぶ。(出典：Wikipedia 抜粋)

今回、利用しようとしている沢の水は、里山に降った雨水が堆積している表土と粘土などの不透水層の間の極浅い層をゆっくりと流れ、沢の付近でにじみ出ている「土壌水」だと考えられます。2週間前に調査した時と比べて、やや水が減っていることから、降水量に影響されやすい沢のようです。



夏の草花

里山は夏の盛りとなり、訪れるたびに違った草花が森の楽校の参加者を迎えてくれます。



クルマユリ



ミズタマソウ



ヒキオコシ